

| | | | | | | | |
|--------------------|---|--|----|-----|---------------|--------|----|
| 科目名 Course Name | 法学応用 Jurisprudence Plus | | | | ナンバリング No. | A3-008 | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 上岡 敦 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-Learning で対応、教室、非常勤講師室 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択 | | | | | | |
| 関連 DP | DP1,DP2,DP4 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>【授業の概要】 法学で学んだ内容をもとに、個別具体的な法律を概観する。また本科目では、社会科学とは何かを考えることを通じて社会科学方法論を学び、学問としての法学を相対化することに努めることで幅広い視野で社会を見る力を養うことも意図する。</p> <p>【到達目標】 1. 各法律専門分野を学び、専門性の高い法的内容・法的課題に取り組む土台を形成する。 2. 社会科学的方法論について理解し、社会科学的思考を様々な問題に応用できる。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 講義形式で行うが、適宜パワーポイントやレジュメなどの補助資料を使用する予定である。毎回リアクションペーパーを配布するので、質問や要望などがあれば提出をすること。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 学生は社会科学方法論を理解し、論理的思考を行うことができるようになる。 | | | | | |
| | L03 | 学生は社会現象や社会問題について客観的に考え、論理的に説明できるようになる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 講義のなかで対応する。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | <p>【教科書】 高橋雅夫 編『法学〈第3版〉Next 教科書シリーズ』(弘文堂、2020年) ISBN:978-4-335-00243-4 その他参考文献については授業時に随時提示する。</p> | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | <p>授業は、法をめぐる実際の問題や、法に対する問題意識を深めるといった点を重視して行う。したがって、教科書全ての章や内容をまんべんなく取り上げる事は避け、重点をおいた項目、補足しておくべき項目について取り扱いたい。受講者は、講義と教科書の双方を活用して、法に対する理解を深めてほしい。毎回の講義に際しては、十分な自己学習と真剣に取り組むこと姿勢が強く求められる。授業で取り上げるテーマ、事例は受講者の関心や社会情勢等に合わせて柔軟に対応する予定であるため、授業計画を変更する場合がある。原則として期末試験によって成績評価を行うが、履修者数によってはレポート試験とする場合もある。なお、成績評価の対象となるためには3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>各回の事前・事後学習の目安:各2時間</p> | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 提出物の内容や提出状況から判断する。 | | 5 | 5 | |
| レポート/作品 | | | | | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 授業内容が踏まえているか、自分なりの学習成果が見られるかどうか等で評価を行う。 | | 45 | 45 | |
| その他 | | | | | |
| 合計 | | | 50 | 50 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--------------------------------------|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス、法的思考能力の意義 |
| | 事前・事後学習 | 論理的に物事を考えることの利点について整理しておく。 |
| 2 | 授業内容 | 法学の基礎の確認 |
| | 事前・事後学習 | 法学で学んだ内容を整理し、自身の理解度を確認しておく。 |
| 3 | 授業内容 | 社会科学と法学 |
| | 事前・事後学習 | 社会科学に属する各学問の特徴を整理する。 |
| 4 | 授業内容 | 日本国憲法の基本原理 |
| | 事前・事後学習 | 日本国憲法の基本原理および特徴についてまとめる。 |
| 5 | 授業内容 | 包括的基本権と自由権 |
| | 事前・事後学習 | 幸福追求権、法の下での平等、自由権について各特徴を簡潔にまとめる。 |
| 6 | 授業内容 | 社会権と人身の自由 |
| | 事前・事後学習 | 社会権が各種自由権の前提となる理由について考えてみる。 |
| 7 | 授業内容 | 内閣と国会 |
| | 事前・事後学習 | 日本国憲法が規定する内閣と国会の関係について図などを用いて説明してみる。 |
| 8 | 授業内容 | 司法権と裁判制度 |
| | 事前・事後学習 | 裁判制度の意義について考える。 |
| 9 | 授業内容 | 民法の基礎 |
| | 事前・事後学習 | 民法の条文にはどのような規定があるのか調べる。 |
| 10 | 授業内容 | 生活と法 |
| | 事前・事後学習 | 契約とはどのような行為をさすのか整理してみる。 |
| 11 | 授業内容 | 刑法の基礎 |
| | 事前・事後学習 | 罪刑法定主義とは何か調べる。 |
| 12 | 授業内容 | 犯罪と法 |
| | 事前・事後学習 | 犯罪の成立要件と刑事司法手続きの流れについて、図などを用いて整理する。 |
| 13 | 授業内容 | 法と政治 |
| | 事前・事後学習 | 法と政治が関わる具体例について考えてみる。 |
| 14 | 授業内容 | 法と行政 |
| | 事前・事後学習 | 行政の捉え方、考え方にはどのようなものがあるか調べてみる。 |
| 15 | 授業内容 | 総括と補足 |
| | 事前・事後学習 | これまでの講義内容をまとめ、理解が不足している点を確認する。 |